

授業科目	ハングル発展				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	NU10507J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	金 光子							
授業概要	<p>&lt;ハングル入門&gt;を履修した学生を対象に韓国語の基本的文法を学習する。 また会話・作文などアウトプットにも力を入れる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.用言文の活用ができる。 2.会話のやり取りができる。 3.簡単な作文ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	0	0	20	100	その他は、授業貢献度。
知識・理解 (DP1-1)	30		20			10	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20		10			10	40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
簡単な韓国語に受け答えすることができる。 韓国語で簡単な単文を作ることができる。				韓国語で質問しその答えを聞き取ることができる。 簡単な文章を書くことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	ガイダンスと復習 ハンゲル入門で学んだ内容を総復習。	シラバスを用いて オリエンテーション を行う。	復習: 該当部分の復習	60
2	丁寧表現へヨ体(1) 丁寧文末表現を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
3	丁寧表現へヨ体(2) へヨ体の縮約形を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
4	固有数詞(1) 固有数詞を覚える。	講義	復習: 該当部分の復習	60
5	固有数詞(2) 固有数詞の運用法を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
6	数詞と会話 数詞を使った会話をする。	講義	復習: 該当部分の復習	60
7	否定形 用言の否定活用を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
8	目的表現 「～(し)に行きます」	講義	復習: 該当部分の復習	60
9	好みの表現 「～が好きです」	講義	復習: 該当部分の復習	60
10	尊敬形 尊敬接辞の活用を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
11	過去形 過去接辞の活用を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
12	文の接続 「～して～しました」	講義	復習: 該当部分の復習	60
13	意志・意向 意志・意向の表現を学ぶ。	講義	復習: 該当部分の復習	60
14	まとめ 学習した用言活用の復習と会話練習。	講義	これまでの講義をまとめておく。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予習・復習はもちろんのこと、「声を出す」ことを惜しまないように。			
テキスト	金順玉・阪堂千津子 著 『最新チャレンジ！韓国語』 白水社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストのCDを聞きながら繰り返して“声を出して”練習してください。			
達成度評価に関するコメント	試験、提出物については授業中に説明します。 その他は授業貢献度(授業参加への積極性、課題到達度など)で評価します。			

